

令和5年度全国学力・学習状況調査
オンライン実施に関する予備調査（中学校）
回答要領

I 調査の目的

本調査は、文部科学省 CBT システム「MEXCBT」を利用して令和5年度全国学力・学習状況調査（中学校調査）の英語「話すこと」調査及び生徒質問紙調査を円滑に実施するため、学校で使用する端末、ネットワークに関する情報等、必要な情報を調査する。

II 調査対象

全ての中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部（本調査ではまとめて「中学校」という。）を対象とする。

III 調査事項

1. 学校に関する情報
2. 使用する端末に関する情報
3. ネットワークに関する情報
4. 英語「話すこと」調査に向けたヘッドセット等の所有状況

IV 回答方法

1. 回答方法

各学校は文部科学省 WEB 調査システム「EduSurvey」を利用して下記のフォームから回答を行う。

<https://edu-survey.mext.go.jp/searchSchoolCode?surveyId=eyq5gKd8iwtagnDs6j5Mxv%2FB5fRVEq5cxFgEkxDIPoZ3%2FBrvXkaf7iVL84SvkW2&searchType=school>

※上記の URL は、不特定多数の方の目に触れるようなホームページ等に掲載をしないようご注意ください。

2. 回答期限 **令和4年10月12日（水）17時**

V 留意事項・その他

【全体】

時点が明示されていない項目は、**令和4年9月1日**現在で回答すること。

【1. 学校に関する情報】

■令和5年度全国学力・学習状況調査への参加予定

回答時点における令和5年度全国学力・学習状況調査への参加予定について選択すること。「4) 無（令和5年4月1日時点で学校が廃止される予定ではない）」を選択した場合は、以降の間の回答は不要。

■中学校第2学年の生徒で令和5年度全国学力・学習状況調査の対象となる生徒数

特別支援学校及び中学校の特別支援学級に在籍している生徒のうち、英語に関して以下に該当する生徒（以下「対象外生徒」という。）を除いた数を入力すること。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている生徒

イ 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている生徒

■令和5年度全国学力・学習状況調査の対象となる生徒が在籍する学級数

対象外生徒のみで構成される学級を除いた数を入力すること。

■令和5年4月1日時点での学校の設置・廃止状況（予定）

・学校が把握する範囲内で、該当するものを選択すること。

（例）地区の生徒数の増加により新たに設置される学校に既存の学校から一部の生徒が就学する予定 → 2)を選択

（例）A中学校がB中学校との統廃合により廃止され、A中学校の生徒がB中学校に就学する予定 → 3)を選択

（例）C中学校とD小学校が廃止され、C中学校の生徒が新たに設置されるE義務教育学校後期課程に就学する予定 → 3)を選択

・新設学校等とは、新たに設置される学校のほか複数校の統廃合による統合先の学校など既に設置されている学校で生徒の新たな就学先となる学校を含む。

・本間で、「3) 廃止される予定（中学校第2学年の生徒は新設学校等に就学先を変更する）」を選択した場合は「3. ネットワークに関する情報」の回答は不要。

・本間で、「4) 廃止される予定（中学校第2学年の生徒の在籍なし）」を選択した場合は、以降の間の回答は不要。

■生徒の変更後の就学先となる新設学校等の名称

可能な限り正確に入力すること（〇〇市立〇〇中学校、〇〇町立「〇〇学園」義務教育学校等）。新設校で、名称が未確定である場合は、仮称による入力も差し支えない。複数ある場合は、可能な限り全て記載すること。

■就学先を変更する予定の生徒数

不明である場合は、「0」と入力すること。

【2. 使用する端末に関する情報】

令和5年度全国学力・学習状況調査で使用する予定の一人一台端末等について回答すること。

【3. ネットワークに関する情報】

学校のネットワークの状況に関して回答すること。令和5年度全国学力・学習状況調査の調査実施日までに、回線を変更する予定であっても現状を回答すること。

■インターネット接続速度

端末1台（生徒が使用する端末と同仕様のもの：予備端末で実施することが望ましい。）を用いて、生徒の端末が接続するアクセスポイントを使用して授業時間内と授業時間外（昼休みの時間帯は除く。）のそれぞれにおいて2回ずつ以下の測定サイトにアクセスして計測を行う。

測定サイト：<https://speed.cloudflare.com/>

■不具合事象

過去1年間で生じた不具合事象について、その頻度を入力すること。列挙している不具合以外に深刻な事象等が生じている場合は「その他（自由記載）」に可能な限り入力すること。

【4. 英語「話すこと」調査に向けたヘッドセット等の所有状況】

学校にあるヘッドセット等について回答すること。

■英語「話すこと」調査で生徒が活用可能な現時点で学校に備えてあるヘッドセット等の個数

ヘッドセット等には、ヘッドホンとマイクが一体となったヘッドセットのほか、イヤホンとマイクのセットなど、英語「話すこと」調査で生徒が活用できるような機器を含む。概数を把握できればよいため、10個単位での入力でも差し支えない。

■英語「話すこと」調査で使用する予定の端末の外部接続端子の個数

ヘッドセットを文部科学省で調達する際の参考とするため、英語「話すこと」調査で使用する予定の端末の外部接続端子について全て選択すること。その際、普段マウスを接続している場合は、その端子については除外し、空いている端子のみを回答すること（例えば端末のUSBタイプAが1か所のみであり、普段USBタイプAで接続されるマウスを活用している場合には、USBタイプAはふさがっているのでここでは回答に含めない。なお、英語「話すこと」調査の実施において外部接続のUSBマウスの使用を求めるものではなく、端末標準のポインティングデバイス（タッチパッド等）で対応可能である。）

■学校にある最も多い変換コネクタの種類・個数

ヘッドセットを文部科学省で調達する際の参考とするため、学校にある変換コネクタ（例えば USB タイプ C から USB タイプ A に変換する等）のうち最も多いコネクタの種類及び数量を入力すること。概数を把握できればよいので、10 個単位での入力でも差し支えない。

【問合せ先】

文部科学省総合教育政策局調査企画課学力調査室

MAIL : gakucho@mext.go.jp

電話 : 03-6734-3726 (直通)

※可能な限り、お問い合わせはメールでお願いいたします。